



うまいくかな♪がんばるぞ♪

二葉保育園…親子クッキング【おえかきちらし】(令和8年6月20日)



海陽町議会だより

6月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164
編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@kaiyo-town.jp

Vol. 81 (2026.8)

海陽町議会ホームページ
QRコード

QRコードにアクセスすると
海陽町議会HPが閲覧できます



おもな
内容

議員紹介	2・3P
町長所信表明	10P
議会のうごき	11P
一般質問	13~17P

紹介・抱負

議長 東 久博

この度、議員各位のご推挙を賜り、議長の要職を拝命いたしました。その重責を改めて認識するとともに、職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

地方自治を取り巻く環境が大きく変化する中、町民の皆様への負託と信頼に応えるべく、公平・公正かつ円滑な議会運営に全力で取り組んでまいります。また、執行部と議会が町政を支える両輪として、それぞれの役割と責任を果たしながら、町政のさらなる発展と住民福祉の向上に努めてまいりる所存であります。

今後とも、町民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副議長 橋本 朗

この度は、副議長という要職にご推挙いただきまして誠にありがとうございます。光栄に存じますとともに、その責任の重大さを痛感しているところであります。四年間のブランクはありますが、町民の皆様のご意見が町政に反映し、安全で安心して暮らせる町づくりを目指して、東議長のもと、議会が公正円滑に、運営されますよう、微力ながら誠心誠意努力してまいります。

皆様方の温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。



西山 幹男

未来に希望が持てる町づくりを実現するため、第一に少子化問題また住民福祉の増進を図り、住民のニーズに応えていきます。今後とも厳しいご指導と、あたたかいご支援を賜りますことをお願いいたします。



島崎 勝弘

魅力のある海陽町に!! 町民の皆様の声を行動を持って町政に反映し、安心して暮らせる町づくりを目指し、4年間議会活動に頑張っております。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



戸田 眞理子

3町が合併して20年。当時を知る議員は、西山・島崎・戸田の3名と、現三浦町長のみとなりました。初めに帰り、海陽町の未来と持続性を考え、議会活動に尽力致します。町の活性化や課題解決には、住民の声が必要です。その声を行政へと繋げる提言を、これからも行つて参ります。



小山 慎

先が見通せない時代こそ、行動・結束力が必要です。「ふるさとを守るため」が私の思いです。地域の声を丁寧に向い、この町で暮らす皆様へ、安心・安全に、そして笑顔で語り合えるよう、思いやりと希望のある町づくりを念頭に、誠実にスピード感を持って取り組んでまいります。



海陽町議会議員

任期：令和8年5月14日から令和12年5月13日まで

富田 寛



この度、皆様方のご支援をいただき再選を果たすことが出来ました。初心忘るべからず。住民の方々の声を聞き、要望等について、町・県当局に働きかけます。海陽町の住民で良かったと思える町、高齢者の方々にやさしい町作りになるよう尽力いたします。

佐川 富美



全国的に、人口減少が課題となっています。すこしでも課題解決に繋がるよう、「住みたい町、帰って来たい町、未来につなげる町」そして、住民の小さな声に耳を傾け、即、実行する姿勢を大切に、地域で安心して暮らせる町づくりに取り組んでまいります。ご指導、ご支援をよろしくお願いします。

幸谷 友子



この度、多大なご支援をいただき議員になりました。今、危機と希望が交差する歴史的岐路に立っています。希望の海陽町に、住んで良かったと思える海陽町にするためにがんばります。公約実現に尽力します。皆さんの声を議会・町政に届けます。皆さんの期待にきちんと応えていきます。

中島 真由美



海陽町の豊かな自然と温かい人々に育まれ、今日まで歩んでまいりました。これから私が皆様のお力になれるよう、皆様の声に真摯に耳を傾け、誰もが安心して暮らせるまちづくりに一歩一歩、そして誠実に努力を重ねてまいります。

有近 幸恵



皆様のご支援のおかげで議員になる事が出来ました。海陽町は素晴らしい町ですが課題は沢山あると思います。少子高齢化、人口減少、物価高騰等を踏まえ今の問題からその先の未来を考える必要があります。子どもも大人も幸せに暮らせる町を目指し精一杯頑張ります。

木内 秀樹



この度、新人議員として町政に参画させて頂きます。少子高齢化、人口減少が進む中でも将来を見据え、安心して暮らせる町づくりのために全力で取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

海陽町議会では総務産業建設、文教厚生との2常任委員会を設置しています。本会議から付託された議案などを活発に審議・調査しました。委員長報告から要旨を抜粋し、お知らせします。

総務産業建設常任委員会

委員長 小山 慎

6月16日開会。

当委員会所管の協議事項の6月議会提案について、説明を受けた。

契約関係

○(R7繰越)資材運搬用トラック購入契約

〔1079万円〕

○CD-1型水槽付き消防ポンプ自動車購入契約

〔3080万円〕

○蛇王運動公園野球場衝撃緩衝材等設置工事請負契約

〔4888万円〕

○ホテルリビエラしきい受水槽更新工事請負契約

〔4865万円〕

○令和7年度玉笠橋修繕工事変更請負契約

工期(変更後)議決の翌

日から令和8年12月28日

予算関係

○海陽町一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ5億6923万円を追加し、総額を90億1223万円とする。

歳出予算

総務費

・一般管理費設計監理委託料

〔100万円〕

川上集会所2階トイレを洋式化するもの。

・駐車場整備工事請負費

〔330万円〕

・実喰庁舎の駐車場舗装工事。

・企画費委託料・工事請負費

〔600万円〕

まぜのおかW.E.T.屋外エリア拡充事業。

・電子計算費委託料

〔450万円〕

町の公式ホームページの改修費用。

・防犯カメラ設置事業補助金

〔100万円〕

防犯カメラ 2基分。

農業費

・農業振興費設計委託料

〔300万円〕

芥附田中地区の農業用水路改修工事に係る設計委託料。

・農林施設等管理費設計委託料

〔100万円〕

・実喰農村環境改善センター体育館及びステージ照明器具をLED化。

・農道新設改良工事請負費

〔1630万円〕

相川室津地区の農道舗装。

・林業費

〔50万円〕

・有害鳥獣捕獲報償費

〔50万円〕

委員の問 サルの捕獲数は。

答 6・7年度合わせて78頭の実績。

委員の問 猟友会の会員数と平均年齢は。

答 会員数は70人で平均年齢は69才。

・造林育成事業工事請負費

〔50万円〕

竹ヶ島町有林の桜植栽地及び林道の除伐費。

・水源林造成事業費備品購入費

〔100万円〕

・森林調査用ドローン購入費。

・商工費

・観光施設管理費修繕工事請負費

〔777万円〕

・土木費

・道路維持費測量設計委託料

〔198万円〕

・熟田地区で公民館下の排水路修繕の設計費。

・道路維持費工事請負費

〔450万円〕

・海部芝地区の舗装工事費。

・道路新設改良費委託料・工事請負費

〔3億2130万円〕

・橋梁修繕設計9橋分と、橋梁点検52橋分、工事請負費4橋分。

・道路新設改良費工事請負費

〔1800万円〕

・町道浅川川東線の法面補強。

・排水機場管理費施設修繕工事請負費

〔550万円〕

・実喰馬排水機の仮設電源設置工事。

・消防費

・津波対策費測量設計委託料

〔545万円〕

・防炎行政無線のシステム改修。

・鯖瀬地区避難路設計費。

・鯖瀬地区避難路設計費。

・鯖瀬地区避難路設計費。

・鯖瀬地区避難路設計費。

・鯖瀬地区避難路設計費。

・鯖瀬地区避難路設計費。

・鯖瀬地区避難路設計費。



委員長 小山 慎 委員 西山 幹男 橋本 朗
副委員長 木内 秀樹 委員 島崎 勝弘 有近 幸恵

その他主な事業は、左のページに特集しています。

計画を見直し防災・減災へ！

各種防災計画策定支援業務委託料 2460万円

新 たな徳島県被害想定を踏まえ、関連する各種防災計画を見直し、未曾有の災害に備え、引き続き、防災・減災に取り組みます。

- ・津波避難計画改訂業務 720万円
- ・地域防災計画改訂業務 420万円
- ・第3期地域強靱化計画策定業務 420万円
- ・防災のしおり(ハザードマップなど)作成委託業務 900万円



各種防災計画

早急な整備に向けて！

突喰地区地域防災公園整備事業 3360万円

防 災公園整備の進捗を加速させるための事業費。

- ・残土置場用地購入費 1640万円
- ・測量設計委託料 1700万円
- ・不動産登記料 20万円

自然資源をフル活用して！

リトリートプログラム開発事業 850万円

清 流・海部川をはじめとする海山川の自然資源を活用し、閑散期の新たな客層の誘致に向け、※リトリートプログラムを開発します。

※リトリート

日常から離れ、心身をリセットし、自分自身を見つめ直す時間や過ごし方



清流海部川(大井付近)

海陽町初の取り組み！

シェアカー導入に係る実証実験事業 80万円

海 陽町に初めて導入されるシェアカーの実証実験をし、そこで得られるデータを分析することで利用状況を調査します。

また、観光目的の利用だけでなく、住民の新しい交通手段としても期待できることから、広報海陽等で周知します。

文教厚生常任委員会

委員長 佐川 富美

6月15日開会。

開会後、高校生の居場所新築場所を巡視の後、当委員会所管の協議事項の6月議会提案について、説明を受けた。

条例関係

○高校生の居場所の設置及び管理に関する条例

委員の問 土、日、祝日が休所日になっているが、居場所としては、休日に利用したいのではないのか。

また、利用の際の受付について、個人情報への配慮はできているのか。

答 高校生や地域の方など利用者からの要望を聞き、休日使用も含め利用しやすい居場所となるよう考えていく。受付簿についても、個人情報の配慮も含め、利用しやすいものとなるように考えていく。

委員の問

地域の方が高校生だけの居場所と誤解している部分がある。地域の方も利用できることを分かりやすく伝えるべきでは。

答 分かりやすく周知していく。

契約関係

○タブレット端末等購入契約 「5182万円」

委員の問 入札業者数と請負率は。

答 指名業者は13社、入札業者3社で、請負率は84・54パーセント。

○マイクロバス購入契約 「1013万円」

委員の問 現状では、白バス行為による違法性はないのか。

答 貸出しバスの運行については、使用料は無料で燃料等は使用者において負担するよう運用していることから問題はない。

予算関係

○海陽町一般会計補正予

算（第1号）

歳入歳出それぞれ5億6923万円を追加し、総額を90億1223万円とする。

歳入予算

国庫支出金

・地域未来交付金

「315万円」

小中学校における町ワイドプロジェクトの導入による学習環境高度化に係るもの。

県支出金

・保健体育振興事業補助金 「1327万円」

本年度より実施される小学校における給食費の完全無償化に伴い、当初予算で充当していた子どもあゆみ基金繰入金を、国の補助金の交付決定後、財源振替を行うもの。

歳出予算

民生費

・高齢福祉費委託料・工事請負費 「980万円」

デイ・サービスセンターわしずみ荘の屋根防水改修工事。

・子ども預かり事業補助金 「120万円」

委員の問 学童保育の対象年齢を4年生までにで

きないか。

答 現時点では、指導員の確保と実施場所のスペースに課題があり難しい。

委員の問

保護者のニーズに合わせて実施できないのか。

答 子どもの人数や指導員の確保の状況なども考慮しながら、安全に実施できる体制と、子どもの健全な育成のための環境となるよう取り組んでいく。

教育費

・グローバル教育事業推進委託料 「450万円」

・地域活性化起業人事業負担金 「648万円」

・中学校管理費工事請負費 「5900万円」

内訳は、海陽中学校トイレ改修工事4200万円。穴喰中学校照明LED化工事1700万円。

委員の問

小中学校のトイレの洋式化は、完了したのか。

答 町全体の計画としては、全て完了する。



委員長 佐川 富美 委員 戸田 真理子 東 久 博
副委員長 幸谷 友子 富田 寛 中島 真由美

その他主な事業は、左のページに特集しています。

新たに事業実施！

子ども預かり事業(穴喰地区) 130万円

補助金120万円・修繕費10万円

小学生の長期休業中の学童保育

穴 喰保育所の空き教室を利用して、夏休みなどの長期休業中に、海陽町に在住・在学の小学1年生から3年生までを午前8時から午後5時まで預かります。

(利用料は一日800円。半日400円。土日・祝日及びお盆・年末年始は休所。)



穴喰保育所



2階ホール

海陽町ならではの「新しい学び」を創出！

海陽町版デュアルスクール推進事業

1098万円

実 績豊富な民間事業者と連携し、町独自の※デュアルスクールを創設し海陽町の豊かな自然や文化に触れる新たな留学を迎え入れます。

※デュアルスクール

日本における多地域就学制度の一形態で、児童や生徒が都市部と地方を行き来しながら学ぶ仕組み。

未来へつなごう海陽の海 環境保全促進助成事業費

303万円

以 前の海と現在の違いをみんなで考える機会にと(仮称)「さかなクントークショー」の開催を予定しています。



さかなクン

議案審議

令和8年度
一般会計補正予算

Q1

防犯カメラ設置

事業補助金

〔159万円〕



佐川議員

設置場所は
決まっている
のか。何基の
予定か。

奥原建設防災課長

地域の防犯を目的として、
地域の防犯活動に取り組ん
で頂ける団体へ、1基50万
円の補助を行う事業である。
現時点で2基分。設置場所
は、今後、公募していく。

Q2

地域おこし協力隊事業委託料

〔550万円（減額）〕



戸田議員

予算の
組み替え
というこ
とだが、
組替えする理由
は何か。

また、DMVの運転手
2名募集したが1名のみ
とのことだが、今後も現
在の形態で大丈夫なのか。

地域おこし協力隊の雇
用形態を従来の外部委託
から役場雇用へ変更し、専
門職員を確実に雇用配置
するため。

現在運休している、3台
のDMVが復帰したときに
は、関係機関と協議をし
て、必要であれば補正な
り当初予算に計上する。

Q3

リトリートプログラム開発業務委託料

〔650万円〕

戸田議員

委託先がどこなのか。

また、海部川がメイン
ということだが、海陽町
には他にも癒しのスポッ
トとなるリトリートの言
葉にふさわしいポイント
がたくさんある。その辺
りはどのように考えてい
るのか。

大久保観光交流課主幹

委託業者については、
入札なりプロポーザルな
りで決めていきたいと考
えている。

今回は、民間と県の調
査成果を本町が引き継ぐ
形で、国へ申請を行い、
観光庁と徳島県の双方か
ら補助金が採択されたも
のである。基本的には海
部川を中心に考えている。

Q4

道路新設改良費橋梁修繕工事請負費

〔1億9400万円〕



富田議員

馬路橋建設工事は県が行っ
たが、修繕工事は町が行うの
か。また居敷橋や、蟹谷橋等、
他の橋についても説明をお願いしたい。

奥原建設防災課長

建設自体は県が行い、維持管理は町が行う
形のものも数多くある。馬路橋や、他の橋に
についても同様である。

Q5

中学校管理費施設改修工事請負費

〔5900万円〕



小山議員

海陽中学校のトイレ修繕
と、央喰中学校のLED化の
具体的な内容は、

また洋式化の計画は、いつ終了するのか。

森崎教育次長

海陽中学校のトイレ改修工事4200万円
は、洋式の便座の設置が15組、小便器、洗面
台、内部改修工事等。央喰中学校のLEDの
照明の工事1700万円は、照明器具の取り
替え、374台分。

海陽中学校のトイレの改修工事で終了する。

条例・契約関係

Q6. 高校生の居場所の設置及び管理に関する条例

小山議員

高校生の居場所の愛称公募を行うと聞いていたが、若い人たちが親しみやすい名称にして、スタートしていくべきだと思うがどうか。

池田地域つながり課長

運営開始後、高校の生徒会に、子どもから大人までが親しめるような通称を提案してもらうよう考えている。

Q7. 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例



島崎議員

支給
審査委員会は、委員は、医師、弁護士その他町長が必要と認める者のうちから、町長が任命するとなっているが、何名を予定しているのか。

北村長寿福祉人権課長

委員会については有事における設置を考えている。災害の状況等にもよるが3名から5名を想定している。

Q8. タブレット端末等購入契約について

小山議員

更新後に、使われなくなったタブレットの再利用や処分は、どうするのか。また、町民の方への譲渡は考えているのか。

森崎教育次長

確実なデータ消去を行った上で、まず学校現場における予備機、周辺機器の活用、故障時の代替機、家庭での学習時の予備機として使用する。また、他部局での活用、保育所、図書館、博物館、公共施設の受付事務用端末として、移管するケースもある。再利用ができない端末については、国の認定事業者へ再資源化ということも含めて考えていきたい。また、町民の方への譲渡も検討していく。

Q9. 水槽付き消防ポンプ自動車購入契約について

佐川議員

消防自動車は毎年1台、追加されているが、どのぐらいの割合で新しい消防自動車に替わっているのか。今後の予定は。

奥原建設防災課長

更新の目安として、25年が経っている消防自動車を買替えている。この消防ポンプ自動車を更新されると、約10年は、購入予定はない。



新しい議席での議場の様子

議

案

審

議

夢と実効のある政策

町長 三浦 茂貴

これからは、「様々な過去の経緯やしがらみ」「法律や財政上の限界」といった壁を乗り越え、共に知恵を出し合い、次の時代を見据えた「夢と実効のある政策」を考え、着実に進めていく。

すみよいまちの実現

要望を繰り返してきた**海部道路**の牟岐から多良間が、ようやく新規事業化が決定した。しかし美波、牟岐間については未事業化区間となっており、引き続き、命の道の早期完成に向けて、関係機関と一丸となって要望を行う。

昨今の**鳥獣被害**を受けて、今年度は新たにサルを重点捕獲鳥獣と位置づけ、1頭1万円を上乗せし、他にもサル、シカ、

く。

にぎわうまちの実現

ふるさと納税の令和7年度の実績は、個人が8539件で2億2585万円、企業版が21件で3084万1千円、合計で2億5669万1千円の寄附金を頂いた。今年度は10月に経費率や返礼品基準など、制度改正が行われるが、そんな中でも目標の3億円を達成できるように、取り組みを強化していく。

海南病院の令和7年度の外来数、入院数が共に昨年度より増加しており、病床の利用率も対前年度比7・7%増の58・2%となっている。

4月17日には、全国放送の「ガイアの夜明け」で「日本の地域医療の最先端を走っている病院がここにある」という内容で約20分放送され、今では、この海南病院は全国から注目される場所となっている。

引き続き積極的な取り組みを展開する中で、海南病院を核とした地域包括医療の確立に努めている。

はぐくむまちの実現

4月1日より、生後6ヶ月から満3歳未満で保育所等に通っていない子どもを対象に、「**子ども誰でも通園制度**」がスタートした。

町内3保育所で平日の9時から15時の間、子ども1人あたり1ヶ月10時間まで、1時間当たり300円で保育所が利用できるようなっている。

海部小学校が今年度、文科省の「生成Aーパイロット校事業」に参画することになった。

今後、海陽町内すべての学校のレベルアップを図っていけるように取り組む。

昨年度から取り組んでいる**部活動の遠隔指導**は、4月28日に大阪体育大学とオンラインで遠隔指導を本格的に実施した。今後は週一回程度オンライン指導を実施することで町外に行かなくても、都会に負けない部活動指導が受けられるように取り組む。

昨年度から**海陽中学校**で**オールイングリッシュ**のモデルクラスを実施しており、今後は各学校、学年に展開していく予定である。

海部高校の今年度の入学生、101名のうち海陽町の子どもは36人であり、今後の少子化を考え

ると、町外からの生徒がいなければ**高校存続**は危ぶまれる。

県立の高校だが町の高校だと考え、予算措置をする中でしっかりと協議し、行きたい学校として地域に残るよう取り組む。

地理的不利を克服していくには、他所にはない施策やそれを実現する具

体的かつ効果的な計画が必要で、戦略的に取り組んできた。

ふるさと納税や海南病院、海部高校など、徐々に結果が出てきているものもある。

引き続き戦略的に進めていき、「ふるさとの今を元気に、そして未来に希望を持てる海陽町を」皆様方と共に創っていく決意である。



改選後の初登庁で花束を受け取る三浦町長



西宮^{にしみや}

治氏^{おさむ} (54歳)

教育委員の選任

第1回臨時会で選任に同意。(再任)
※任期は5月27日から4年間



前川^{まえがわ}

清和氏^{きよかず} (78歳)

監査委員の選任

第2回定例会で選任に同意。(再任)
※任期は6月21日から4年間

令和8年度
町村議会議長・副議長研修会

会場：東京国際フォーラム
(令和8年5月26日)



選挙管理委員会委員及び補充員



〔委員〕 森 貢氏 吉田 和栄氏
 櫛田 恵子氏 東谷 一郎氏
〔補充員〕 由木 和幾氏 穴戸 正典氏
 本庄 和美氏 霧 真美氏

第2回定例会で指名推薦により決定。
※任期は6月21日から4年間

議会のうき

4月1日から6月30日まで

4月

3日 海部郡町村議会議長会第1回総会(牟岐町)

6日 議会広報編集特別委員会

21日 議会議員選挙告示

26日 議会議員選挙立候補者受付

議会議員選挙投票および開票

5月

15日 新議会での議員懇談会

22日 第1回臨時会(初議会)

26日 町村議会議長・副議長研修会(東京)

6月

8日 議会運営委員会

議会全員協議会

15日 第2回定例会(1日目)

文教厚生常任委員会

議会運営委員会

16日 総務産業建設常任委員会

18日 第2回定例会(2日目)

議会広報編集特別委員会

21日 戦没者追悼式

第2回定例会

議案の審議

令和8年第2回定例会は、6月15日開会、町長より19議案等が提出され、審議の結果、原案どおり可決・同意・承認し、6月18日閉会した。

条例関係

- ・高校生の居場所の設置及び管理に関する条例
- ・災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

契約関係

- ・タブレット端末等購入契約について
契約方法 指名競争入札
契約金額 5182万円
契約相手 スタンシシステム 株式会社
納期 議決の翌日（令和8年6月15日）
- ・マイクロバス購入契約について
契約方法 指名競争入札
契約金額 1029万円
契約相手 谷崎自動車整備工場
納期 議決の翌日（令和9年3月31日）
- ・（R7線）資材運搬用トラック購入契約について
契約方法 指名競争入札
契約金額 1079万円
契約相手 谷崎自動車整備工場
納期 議決の翌日（令和9年3月5日）
- ・C-D1型水槽付き消防ポンプ自動車購入契約について
契約方法 指名競争入札
契約金額 3080万円
契約相手 有限会社 エフテック
納期 議決の翌日（令和9年3月30日）
- ・蛇王運動公園野球場衝撃緩衝材等設置工事請負契約について
契約方法 指名競争入札
契約金額 4888万円
契約相手 丸乃木材 有限会社
工期 議決の翌日（令和9年1月20日）
- ・ホテルビエラしきい受水槽更新工事請負契約について
契約方法 指名競争入札
契約金額 4865万円
契約相手 株式会社 坂本工務店
工期 議決の翌日（令和8年12月1日）

第1回臨時会

議案の審議

一般選挙後の初議会として、5月22日開会、次の議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決し閉会した。

人事関係

- ・議長選挙・副議長選挙及び各構成員構成
- ・徳島県後期高齢者医療広域連合議員選任について
- ・教育委員会委員の任命について
- ・監査委員の選任について

承認関係

- ・専決処分承認（条例）
- ・税条例の一部を改正する条例
- ・国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ・専決処分の承認（予算）
- ・令和7年度一般会計補正予算（第9号）
事業勘定 2億1159万円↓ 施設勘定 2億1920万円↓
- ・令和7年度国民健康保険特別会計補正予算（第5号）
事業勘定 2億1159万円↓ 施設勘定 2億1920万円↓
- ・令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
事業勘定 2億1159万円↓ 施設勘定 2億1920万円↓
- ・令和7年度介護保険特別会計補正予算（第5号）
事業勘定 2億1159万円↓ 施設勘定 2億1920万円↓
- ・令和7年度鉄道経営安定基金特別補正予算（第1号）
事業勘定 2億1159万円↓ 施設勘定 2億1920万円↓
- ・令和7年度損害賠償の額を定めることについて
和解及び損害賠償の額を定めることについて 2件

報告関係

- ・繰越明許費に係る繰越計算書の報告について
- ・建設改良費繰越に係る繰越計算書の報告について
- ・事故繰越しに係る繰越計算書の報告について

6月補正予算後の歳入歳出予算

歳入	6月補正	補正後	構成比率
町税	0	6億3,129万6千円	7.0
地方譲与税	0	1億8,300万円	2.0
利子割交付金	0	350万円	0.0
配当割交付金	0	920万円	0.1
株式等譲渡所得割交付金	0	1,220万円	0.1
法人事業税交付金	0	1,350万円	0.2
地方消費税交付金	0	1億8,260万円	2.0
環境性能割交付金	0	30万円	0.0
地方特例交付金	0	90万円	0.0
地方交付税	0	38億5,021万7千円	42.7
交通安全対策特別交付金	0	20万円	0.0
分担金・負担金	927万9千円	6,693万2千円	0.7
使用料・手数料	0	7,330万4千円	0.8
国庫支出金	2億1,048万1千円	5億5,910万6千円	6.2
県支出金	2,695万4千円	4億6,161万2千円	5.1
財産収入	0	4,572万6千円	0.5
寄附金	0	1億5,070万円	1.7
繰入金	6,501万1千円	16億1,575万2千円	17.9
繰越金	0	2億3,000万円	2.6
繰入	690万円	9,508万円	1.1
町債	2億5,060万円	8億2,980万円	9.2
合計	5億6,922万5千円	90億1,222万5千円	100.0

歳出	6月補正	補正後	構成比率
議会費	733万6千円	7,285万6千円	0.8
総務費	△1,249万1千円	12億6,423万8千円	14.0
民生費	1,458万7千円	19億5,475万5千円	21.7
衛生費	783万2千円	11億5,952万円	12.9
農林水産業費	4,496万4千円	5億7,105万1千円	6.3
商工費	1,561万円	3億8,907万9千円	4.3
土木費	3億9,680万8千円	10億2,750万8千円	11.4
消防費	3,114万6千円	4億9,297万5千円	5.5
教育費	6,143万3千円	10億8,644万7千円	12.1
災害復旧費	200万円	3,195万円	0.4
公債費	0	9億4,895万円	10.5
諸支出金	0	265万円	0.0
予備費	0	1,024万6千円	0.1
合計	5億6,922万5千円	90億1,222万5千円	100.0



富田 寛 議員

中学校給食費無償化について

〈三浦教育長〉優先すべきは 海外修学旅行の無償化

問 現在県内16市町村で中学校給食無償化を実施している。県下でも未実施は海陽町外6市町村だけである。保護者経済的

負担軽減のため、給食費無償化を実施できないか。財源として、子どもあゆみ基金を活用できないのか。

少子化対策も実施しているが、出生人数は右肩下がり。令和7年度19人である。残念ながら施策に結果が付いて来ていない。今までの事業検証、新しい事業等も必要かと考えるがどうか。

答 森崎教育次長

令和8年度給食費の中学生138名の保護者負担の総額は約1050万円。このうち、子どもあゆみ基金から約443万円を充当。保護者負担にかかる経費の約40%を本町が負担。残る約607万円を町が負担し、完全無償化を継続していくには、限られた財源の中で、

他の重要な教育施策や、子育て支援とのバランスを慎重に見極める必要がある。

本町が目指すべきは、単に他市町村の横並びの施策を追従することではなく、海陽町ならではの独自性と、子どもたちへの未来への投資効果を最大化することである。

答 三浦教育長

海外修学旅行の実施は、これまで本町が積み上げてきたグローバル教育の集大成である。子どもたちが言葉の壁や文化の境界を自らの力で乗り越え、グローバル社会を生き抜く自信と広い視野を育むための重要な取り組みである。限られた財源の中で、給食費と修学旅行の無償化を比較した場合、教育行政を預かる私たちは、後者こそが、この町で学ぶ子どもたちに提供すべき、海陽町だからこそ実現できる教育であると確信している。

答 三浦町長

14年前に10億円で設立された子どもあゆみ基金は、これまでに約半分の5億円を事業費に充当している。

既存の施策については、より効果が上がるよう見直しを含めて検討し、この地で子育てをしたいと思えるような施策を目指す。

観光事業の一環として 釣り堀事業を

〈観光交流課主幹〉
実現可能な意見交換を行っていききたい

問 町内には釣り堀事業に適した場所がある。鞆浦・穴喰漁協組合長も入っていただいて、一般客、宿泊客も一本釣りを

楽しめる、釣り堀の実現に向けた協議は必要と考える。

リピーターになってくれる宿泊客も出て来ると、観光客誘致につながると、動画配信なども実施したら観光の起爆剤になる可能性があるのでは事業化が出来ないか。

答 大久保観光交流課主幹

観光施設等における活魚の提供や水槽の活用は、安定的、持続的な観光サービスとして提供していく上でのハードルがあったと認識している。今後の対応としては、具体的なイメージをベースとして、観光利用における現況調査を行うとともに、周辺の観光事業者や協力を仰ぐべき関係機関と観光ビジネスとしての実現可能な課題

の洗い出しに向けた意見交換を行っていききたいと考えている。

答 三浦町長

8年前の質問時にも、現場と検討をした。生簀に魚を入れると魚が痩せたり、餌代も多くかかり、難しいということと断念した経緯がある。

海陽町の魚を常に新鮮な状態で提供できないようなシステムを作れないか、再度、漁業関係者の意向も伺いながら研究していく。



穴喰漁港

高齢者単身世帯におけるごみ出し支援について



中島真由美 議員

〈長寿福祉人権課長〉

こまめなごみ出しの周知を図る

答 北村長寿福祉人権課長
社協やヘルパーさんにも、状況を確認した。高齢者の単身世帯では、ごみの排出量も少なく、これから気温が高くなれば、腐敗しやすくなる。ごみ袋がもったいない、という気持ちは理解できるが、家庭の衛生環境を第一に考え、ごみ出しをこまめにしていただける

問 高齢者単身世帯で、ごみ袋がいっぱいになるまでごみをため込むことによる衛生上の問題を、どのように把握しているのか。また現在の指定ごみ袋が、生活実態に十分対応できていると考えているのか。ごみ処理用のシール貼付け制度を活用し、高齢者向けの少量ごみ排出支援策を検討できないか。

答 中内住民環境課長

指定ごみ袋ではなくて、自前のビニール袋にごみ処理シールを貼って出すなど、個々の家庭に応じた効率的な方法、ごみ処理シールの活用や導入について、海部郡のごみ処理部会で検討する。

よう、周知を図りたい。今後もより有効な支援の在り方について、いろいろと研究をしていく。

高齢者の生活を支える地域交通と買い物支援策は

〈住民環境課長〉

持続可能な新しい交通モデルの構築に向けて検討する

問 町では、高齢者の方を対象とした様々な移動支援に取り組んでいる。そうした制度があっても、時間帯や天候によっては必ずしも誰もが負担なく利用できる状況ではない。

答 中内住民環境課長
交通事業者や地域住民と対話を重ねながら住民視点に立った公共交通の在り方を慎重に検討を進めている。

歩くのが大変、夏場は食料品が傷みや暑いなど、公共交通を利用される高齢者からの声もたくさん聞いている。バスにクローラボックスを設置できないのか、といった対応についても高齢者の視点に立ち、持続可能な新しい交通モデルの構築に向けて、検討する。



高齢者世帯への買い物支援の様子

※マルチモーダルな交通網
鉄道・バス・地下鉄・自転車・徒歩・タクシール・シェアモビリティ（車や自転車などの移動手段を、複数の利用者が共有するサービス）など複数の交通手段を一体的に結び付け、乗り継ぎや運行情報を統合して利用者がスムーズに移動できるように設計された交通ネットワーク。

般

質

問

駅前活性化をどのように考えるのか



佐川 富美 議員

〈観光交流課主幹〉

地域や学校を巻き込んだ事業を展開する

問 海南駅は、町の玄関口であり、町の印象を左右する大切な場所である。海南駅をバスターミナル的な拠点とし、単なる通過点ではなく、交通の基準点、人が集まる拠点として位置付け、JR、路線バス、町営バスの連携強化を検討できないか。また、駅前の活性化をどのように考えているのか。

答 中内住民環境課長

二次交通も含め高校生や乗客の利便性の向上につながるという思いから、4年前にそれぞれのバス関係者と協議をした。

バス停を駅前集約するのは、スペースが足りない。バスが入れない、回せないなど、安全面の考慮やハード整備を伴うという意見があった。

また、駅前の道沿いでは、交差点があるため警察からの許可が出ない。ハード整備には、土地の購入などの諸問題も考えられ、困難である。公共交通機関の利用者の利便性については、引き続き検討する。

答 大久保観光交流課主幹

地域や学校を巻き込んだソフト面の仕掛けで、駅のぎわいをしっかりと下支えしていく。



阿波海南駅付近

災害時に備え体育館にエアコンを設置できないか

〈建設防災課長〉 空調設備の導入の検討に入りたい

問 災害時に、避難する場所は主に体育館である。小・中学校の体育館

には空調設備が設置されている。しかし現在の空調設備はスポットクーラーである。前に行くと涼しい風が出るが、全体を冷やすものではない。年々厳しさを増す猛暑の中で、現在の空調設備では充分といえない。体育館へのエアコン設置の考えは。また、各教室にはエアコンが設置されている。必要に応じて避難スペースとして活用することはできないか。

答 奥原建設防災課長

各学校の教室には空調設備が完備されている。補完的な対策として、空調設備のある教室の活用は必要不可欠であると、教育委員会とも共通の認識を持っている。一方、発災後の学校の早期開始という観点も考えなければならぬ。

また、現状では、体育館での避難生活は充分とは言えない。6月末には関係各課で、体育館への空調設備の導入に関して

の検討に入りたいと考えている。その中で、導入の必要性や財源的なものを含む課題やスケジュールなどを洗い出し、他自治体の導入事例などを調査研究しながら、検討を重ねてまいりたい。

問 各自主防災組織で保有している資機材（発電機）は、定期的に点検を行っている。しかし公的施設に配備されている防災資機材は、充分な点検が行われていない。公共施設の防災資機材の点検や維持管理をどのようにしているのか。

答 奥原建設防災課長

現在、防災資機材などを配備している公的施設は、海南庁舎、海部庁舎、宍喰庁舎、海部高校、各小中学校、南部防災館、海南文化村などである。出水期前の点検の実施、また、施設管理者への再度依頼するなど、点検体制の強化に努めている。

起業支援事業について



〈産業振興課長〉より効果的な施策となるよう、
制度改正についても検討していく

木内 秀樹 議員

問 ふるさと創造戦略補助金のうち、起業支援事業のこれまでの申請件数、採択件数は。また、利用状況、継続状況はどうなっているのか。

答 乃一産業振興課長

本補助事業は、新たに起業をする事業者を支援することで、地域の活性化を図ることを目的に平成27年度から創設され10年が経過した。令和7年度までの申請件数は17件で、採択件数も同数である。また、そのうち、現在15件が継続しており、2件が廃業。定着率は88%で、一定の効果があらわれている。

問 補助金交付後の支援について、例えば、数年ごとの面談や商工会、徳島県よろず支援拠点等へ

の橋渡しなど、今後どのような形で、伴走支援をしていくのか。

答 乃一産業振興課長

補助金の交付をして終わりということではなく、その後の経営相談等についても、商工会や県関係機関等と連携をすることで、事業者がよりよい発展をできるよう取り組んでいく。さらに今後は、規模拡大や、新規雇用等に意欲的な事業者のニーズを把握し、企業努力だけでは課題解決が困難なことについて、公的支援が可能かどうかという部分も含め、研究する。

問 移住相談窓口と起業相談の情報共有や連携の状況と、空き家バンクや空き家改修支援補助金を活用したこれまでの利用実績は。また、起業支援と移住、空き家対策をパッケージとして案内するなど、住まいと仕事をセットで支援していく取り組みについてどのような

な検討しているのか。

答 乃一産業振興課長

現在海陽町では、起業支援、移住政策、空き家活用などの窓口は産業振興課が一括して担っており、これら全ての相談をワンストップで対応することが可能な体制となっている。

直接窓口へ相談頂いた方はもちろん、移住相談会の場においても、空き家バンクの情報とか、起業支援補助金、空き家改修補助金の説明を丁寧に行っている。

今後、より広く知っていたいただくために、広報活動等についても積極的に取り組み、より効果的な施策となるよう、制度改正についても検討していく。

問 今後、ホームページのリニューアルなど、周知方法をどうやって変えていくのか。

答 乃一産業振興課長

広報の媒体については、ホームページ、SNS、従来どおり紙媒体とチラシも含めて、内容を

もう一度見直し、より伝わりやすい広報の作成に努める。



特定創業支援セミナー受講の様子



とくしま丸ごと移住相談会in大阪

般

質

問

中学校給食費の無償化を



幸谷 友子 議員

〈町長〉海外への修学旅行の充実のような、
教育の機会均等を守る投資に優先順位を置くべき

問 学校給食は教育の一環である。

子どもたちの心身の健康を守り健やかな成長につながる給食費無償化が、喫緊の課題であると考えます。町長の中学校給食費無償化よりもICT・グローバル教育・海外修学旅行無償化という二者択一ではなく、学校給食の無償化があるからこそ海陽町ならではの魅力的な教育施策がさらに輝くという並走の考え方にたち、中学校給食費無償化をできるだけ早く、実現できないか。

答 三浦町長

財源があればすべて無償にしたいが叶わないのが現状である。現在は、8000円近くかかる給食費を4000円に抑える補助や、第3子以降の

給食費の無償化も実施。また、地産地消の食材を使うなど独自の施策も展開している。

都市部と地方との深刻な教育格差を克服することこそ、海陽町の行政が主導すべき最優先課題であると考えている。

修学旅行は学習指導要領で定められた正式な特別活動の一つである。保護者が、同じように積み立てをする修学旅行費に、町が支援をして、都市部に負けない質の高い特別活動として充実させたい。

全国一律の施策をただ実施するのではなく、地域の特徴に応じ、他にはない施策を戦略的、効果的に展開し、教育と少子化の両方に大きな効果を発揮させることこそが、本町の方針である。

中学校の給食費も国の方向性が出れば、無償化を実施していきたい。

補聴器購入費補助制度の実施を

〈長寿福祉人権課長〉次年度当初を目標に進める

問 本年度、徳島県下24自治体のうち12自治体が65歳以上の加齢性難聴者（高齢者軽度・中度難聴者）への補聴器購入費補助制度を実施している。海陽町においても実施を求める要望が高まっているが、なぜ実施していないのか。今後、実施の考えはあるのか。

答 北村長寿福祉人権課長
加齢により聞き取る機能の衰えが進行すると、コミュニケーションがうまくとれなくなり、脳の活性も低下し、うつ状態や閉じこもりなどに発展する恐れもある。難聴は、認知症の危険因子の一つとも言われている。補聴器購入費補助制度については、県内自治体と同程度の補助制度を、次年度当初を目標に進めたい。補聴器の装着により、聞こえの改善をし、認知症予防や健康寿命の延伸につなげていただきたい。

問 購入費補助は、両耳装着の場合、当然、片耳ずつと考えるが、補助額は、いくらぐらいと考えているのか。

答 北村長寿福祉人権課長
県内自治体の補助金の金額は、おおむね2分の1補助で、上限が3万円が大半で、その水準を目指したい。

県内の自治体においては、両耳、片耳を問わず上限3万円。また両耳であれば、片耳3万円ずつという自治体もある。補助額については、今後検討する。



補聴器をつけて日常生活に
支障のないコミュニケーションを

氏名 **山本 牧人さん**
美希さん

移住年数 18年(牧人さん) 9年(美希さん)
 住所 穴喰浦字穴喰



山本牧人さんのご家族

移住のきっかけは？

牧人さん サーフィンをしていたこともあり、日本全国をキャンピングカーで周りながら、海外から輸入したサーフィン関連商品を販売していました。

その頃、東京で海陽町の縫製工場の専務と出会って、海部藍の立ち上げプロジェクトを手伝って欲しいと言われ、素肌にも優しく環境にも配慮した天然染料の藍染が、今後の自社のコンセプトと合致したことなどがきっかけとなり移住を決めました。

美希さん 友達と竹ヶ島を訪れマリンスポーツをしたとき、自然に癒される感覚になり、できる事ならこんな町で暮らしたいと思いました。その頃、すぎのこ市場の販売促進、地域のものを使ったお土産品の開発などの地域おこし協力隊へのチャンスがあったので応募して、移住を決めました。今は、角坂で、穴喰の食材を大切にしてお菓子づくりをしています。

町の魅力は？

波が良いこと、その背景にある山、川、きれいな水は本当に魅力的に感じます。やはり豊かな自然と、人が温かいこと。

町の残したいものは？

- ・八坂神社でのヤオハオ（穴喰祇園祭で子どもたちが舞うお能のこと）、阿波踊りなど、地域行事をお手伝いする中で地域を担う子どもたちへ地域を大切にする想いを繋いでいきたい。
- ・地域の人の温もりと豊かな自然をもっとより良く次の世代に引き継いでいきたい。



委員長 橋本 朗 小山 慎 幸谷 友子
 副委員長 戸田眞理子 中島真由美 有近 幸恵

定数減での選挙も終わり、12名体制で6月議会がスタートしました。当委員会も新人3名を迎え女性4名、男性2名の構成となりました。細かい心づかいをしながら、より分かりやすく、読みやすい広報紙となるように努力します。

今年もまた暑い夏の到来です。皆様水分を十分取って熱中症対策をおこなって下さい。

皆様のご意見を気軽に寄せただければ幸いです。

（橋本）

編集後記